

再犯防止の推進について

1 関係機関ヒアリングでの主な意見

(1) 犯罪（再犯）に至る背景によく見られるもの

- 保護者が子どもに無関心なことなどで、必要な支援が届いていない
- 勉強ができず、家庭や学校に居場所がなくなり、不良グループや暴力団などと付き合いようになる
- 就職ができず生活が困窮している
- 認知能力が低い、障害がある、などで、コミュニケーションや判断に支障がある

(2) 再犯防止に必要なこと

- 愛情をもって接し、きちんと本人と向き合うこと
- 福祉の制度へのつなぎ
- 本人の理解度に合わせた教育
- 人とのつながり（話を聞いてくれる人）
- 安心できる居場所
- 仕事

(3) その他

- 初犯の防止と異なり、再犯防止を地域や支え合いで行うのは難しいと考える支援者もいる

2 委員意見

別紙参照